

潮流



2015

7月号

No.244

大津島(平成27年6月1日現在)
 人口 312人(男133人 女179人)
 高齢化率 76.6%



かけがえのない時間”をありがとう！！

～民泊体験～

体験学習で「大津島が開催され、初日は一般家庭に、二日目は海の郷に宿泊しました。五月七日〜九日は、鹿野中学校二十名が七軒に、五月十一日〜十三日には和田中学校十六名が四軒に民泊して、釣り体験、漁業体験、夕食作りなど、島生活の体験を行いました。民泊を受け入れて下さった家庭の方々に感想を聞いてみました。



石風呂や本浦港を歩きたいね。こんな美味しいイカは食べたことないって言ってたんよ。 安達壽富・一江

1升の押し寿司をみんなで作ったよ。翌朝は味噌汁3杯でびっくりいね。 石丸ユキエ

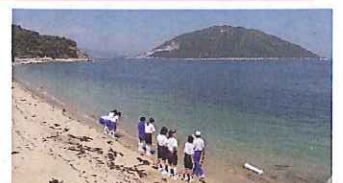


厳島神社をぐるっと参拝したいね。お刺身も自分で作ったよ。 石田輝正・房子

アジ等30匹も釣ったんよ。初めての三枚おろしも上手じゃったよ。 石田幸敏・久子

小麦のまんじゅうづくりをしたいね。そりゃ旨そうに食べたんよ。 佐々木義守・紀代

おもちをついて、こねて丸めて、なんと賑やかじゃったのう。 屋野廣志・梅子



倉の窪からの夜景をみたんよ。タコのサクラ煮も美味しく食べたいね。 光藤士郎・ヨリミ

野イチゴジャムのケーキをつくったんよ。近江から瀬戸浜の波止場までお散歩したんよ。 武田頼子・石田照江



民泊を受け入れて



文＝中村キミ子

私が民泊を受け入れたのは今回で二度目。今回も女の子三人（鹿野中一年生）。

到着早々落ち葉集め。それと甘夏みかんの収穫をしてもらった。女の子にはきつかったのかな？後日届いた手紙にそう書いてあった。夕食準備までの間、メダカ取りに行くのと海に行くのとどっちがいい？と聞くと、「海！」と言うので潮も引いていたので「ニナ」を取りに行った。けっこう取れて一緒に楽しんだ。

帰って夕食の支度。私はご飯（むすびを作る）、煮物（皮をむく）、天ぷら（ちよつと危険？）と、和え物かサラダ、これを基本にしている。今回は肉じゃが、天ぷら、ワカメのサラダと、さらにお魚（メバル）をいただいたので煮付けて豪華な食卓に。包丁使い、ちよつと危なっかしかったけどみんな頑張っておいしく出来た。片づけをしてお風呂。なんと三人一緒に入ると言う。まあにぎやかな事。あつという間に時間は過ぎる。

朝、六時起床。朝食作り。ご飯、味噌汁、玉子焼き、焼き魚（シシャモ）、これが朝食の基本メニュー。これをみんなで作る。玉子焼きがスクランブルエッグになったりした。前の日に取ったニナをゆでて出した。これは食べたことがないので皆こわごわ初挑戦。でも、お醤油を付けるとおいしいと言って食べていた。片づけも早々、お迎えの車の来る時間。待つてる間にシンビジュームの肥料やりまでしてもらって、私の方こそ、感謝の気持ちで一杯でした。本当にありがとう。

季節の俳画

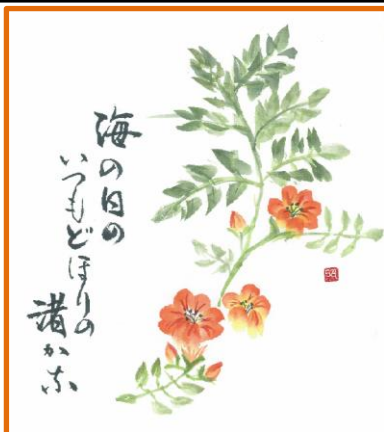
安達燕子

夏野菜



動植物が活発に成長する夏ならではの風物詩として、畑の野菜が元気に育っています。

凌霄花(のうぜんかずら)



ひたすらに暑さだけが身にしみる夏本番です。涼風を求めて咲き乱れる「のうぜんかずら」が海のある島の風景によく合っている、心魅かれます。

海の街道・十八

【我等が時代へ】



大津島南端の海峡



大津島北端の海峡

文＝末兼正純

江戸時代後期、長州藩の経済を支えた三白政策（米・三田尻の塩・須金や徳地の和紙、後に田布施などの蠟を加えて四白政策とも言う）の産物を取り扱う商港として徳山港が整備された。

明治三十七年、日露戦争を機に海軍練炭製造所（後の海軍燃料廠）が、大正七年に日本曹達株式会社（後の徳山曹達）が徳山に設立され、大正十一年には徳山港が開港し、特別輸出入港に指定された。

戦雲急を告げる昭和十二年、大津島に九三式魚雷試験発射基地ができ、これが大戦末期には海の特攻・回天の訓練基地となり、その整備工場も造られる。また、島の山頂に燃料廠の防空のため高射砲陣地が設けられるなど、大津島の周辺は海軍の要港となった。

私も幼い頃祖父に手を引かれ、刈尾岬に徳山湾に碇泊中の連合艦隊を見に行った記憶がある。

昭和二〇年四月初めには、おとり出撃を承服しかねた戦艦大和が三田尻沖で一週間待機遊弋していた。

高度成長期になると燃料廠跡にできた出光のコンビナートにマンモスタンカーが入りし、大津島にはフェリーが就航し、島内も車が走るようになった。

三年間にわたって海の街道に纏わる物語を書かせて戴いて来たが、何も語らぬ海がこのように豊かな歴史を秘めていることを想うとき、朝な夕なにふるさとの海を眺めて暮らす日々を幸せに思う。

知っちょるかね



「セーラー服のお姉さん」

文＝松本 千恵子
絵＝古城 節子

戦後間もない頃の事。

ある家の六歳になる男の子が、毎日晩がた暗うなっても戻って来ん事に気づいたのは、ずいぶん経っての事じやったという。あんまりにも様子がおかしいけん大人達が問い正すと、「セーラー服の綺麗なお姉ちゃん遊びよる」と島には居りもせん人の事を話す。出んように言い聞かすが油断すると居らんようになる。どうでも様子が普通でなあけん、家の者が年寄りに相談したんと。そして「悪いものに魅入れられちよるんじやろう。この子を外に出さんようにせんと、命を取られるでよ」と言う。たまげた家の者は親戚の男衆を三人雇うて男の子を見張らせたと。昼間は普通に遊びよ

った子が晩がたになつたら外に出るちゆうて聞かん。止めようとしても振りほどいてそのまま外に出ようとするから、男衆が三人がかりで止めるが、たった六歳の男の子のどこにそんな力があるんかちゆうほど暴れまくる。男衆も恐ろしいくらい暴れる子を押さえつけて行かせまいと、くんじゅうなしたんじやと。ところがある時間を過ぎると子はカクンと力が抜けてすうすう寝息を立てて寝ちよるんと。そんな騒ぎはひと月近くも続いたが、いつの間にか治まって男の子が晩がた出る事はなくなつたそうかね。徳山の空襲で死んだ娘じやったんかも知れんと島の大人達は話したちゆうことじや。

「死人松の話」



文・絵＝渡邊あゆ子

私がまだ小学生だった頃、島の一角に「死人松」という大きな大きな松がありました。なぜ死人松と呼ばれていたかという、その辺りには昔から、嵐の海で遭難し亡くなった人達の遺体が流れ着き、「無縁仏」として葬られていたといういわれがあったからです。死人の上に生えたから死人松。

戦時中のこと。「回天」のある関係で、この死人松の辺りにも歩哨(警備の兵隊さん)が立ちました。真夜中。一人で死人松のそばに立つ歩哨の耳に声が聞こえるというのです。「ぶつぶつ」最初は囁くような小さな声でした。もちろん辺りには誰もいません。「ぶつぶつぶつぶつ」声は次第に大きくなり、そして増えていきました。その声は歩哨がタバコを吸おうとマッチの火をつけるとぴたりと止み、火が消えるとまた聞こえ出すのだそうです。

そのうちに、死人松の辺りには歩哨が二人立つようになったとか。

ひろしのつぶやき



文＝屋野 廣志

危険現場作業でのヘルメット着用を義務付けられた頃の事である。

私の着用していたヘルメットは、兵隊さんの鉄兜に似て少し違和感があった。

ある日、山肌の大岩に火薬発破を行い、その割れ具合を見ようと最上部から垂れ降ろした命綱を右手に持ち、覗き込んだ。

その時、上段より拳大の石が私の後頭部を直撃した。その衝撃でヘルメットは大きく凹み亀裂が入り、耳の辺りからは血が流れていた。その割には、意識はしつかりしていて痛みも感じず、詰所に戻り机に伏して居た。

耳から出血すれば助からぬと云い、大怪我は意識はしつかりしているものだと聞けば不安でならなかった。が、医者に行く手段もなく、そのままじつとしていた。

それから、数分経った。あれだけの出血がありながらそれ程痛みはなく、改めて傷の具合を見たところ、耳からの出血は、石がヘルメットに当たった後、耳を擦り、付いた擦れ傷であった。ヘルメットに守られた頭は外傷も痛みもなく、守ってくれたヘルメットに改めて感謝した。

その傷付いたヘルメットは、まだ我が家の倉庫の何処かに眠っている。魚釣りをしても畑仕事をしても、私の頭からヘルメットは離れる事はない。今、毎日の様に日本各地で地震が発生している。何時直面するか分からぬ災害に行政の指導も頂き、自らも対処方法を考える。

行方不明が一番の迷惑と聞く。しかし、銀杏の木に身を縛る勇氣もなく、いち早く海拔標識の高台目指して、足の神経痛の痛みも忘れ駆け登る事であろう。その時、持病の神経痛が完治するかもとつぶやく。

「デイサービス利用で『健康寿命』を延ばしましょう」



大津島の最新情報 更新中!!
<http://shunan-inaKa.jugem.jp/>

皆さん、お元気でお過ごしですか？
 デイサービスセンターは本年四月、無事開設二十周年を迎えました。これもひとえに、地区の皆様のご支援、ご協力のおかげと、職員一同感謝しております。

さて、みなさんは「健康寿命」という言葉を知っていますか？「健康寿命」とは健康上の問題がなく、日常生活を普通に送れている状態のことを指します。最新の統計では、日本人の平均寿命は男性八十・二歳。女性八六・六歳で、これに対し「健康寿命」は男性七一・二歳、女性七四・二歳と、平均寿命より約九〜一二年も短いのです。

当所では入浴・食事サービスをはじめ、機能訓練や各種レクゲーム等実施していますので、私たちと一緒に、楽しく身体機能の維持向上を図り、みんなで「健康寿命」を延ばしましょう。

平成27年6月4日に、三団体の総会を開催しました。
 (観光協会/コミュニティ/社会福祉協議会)
 今年度の7月以降の行事予定をお知らせします。
 天候等により変更する場合がありますので、詳細は大津島支所にご確認ください。

平成27年度行事予定	
7月17日(金)	老人大学校 10:00~11:30 大津公民館
8月3日(月)	世界ジャンボリー
9月15日(火)	敬老会 10:50-13:30 海の郷体育館
9月28日(月)	須金老人クラブ交流会 須金観光農園
10月4日(日)	第24回大運動会 幼小学校
10月9日(金)	人権教育講演会・授業参観
11月1日(日)	第30回大津島文化祭 幼小学校
11月13日(金)	大津島小中学校 ふれあい遠足 本浦石風呂
12月6日(日)	第26回大津島ポテトマラソン
2月11日(祝木)	建国記念の日奉祝行事 海の郷体育館
3月27日(日)	老人クラブ須金交流会/さくらまつり

【 刈尾海水浴場の閉幕について 】

長年皆様にご利用いただいた大津島刈尾海水浴場は、諸般の事情により今夏(平成27年)から、監視員の配置やサメ防止ネットの設置、無料休憩所等は取り止めさせていただきます。

したがって、刈尾海水浴場での遊泳はご遠慮いただきますようお願いいたします。

なお、砂浜への立ち入りはできますので、砂遊びや水遊びをお楽しみください。

～事務局からのお知らせ～

大津島地区社会福祉協議会よりお礼
 平成27年度善意銀行へのご寄付をありがとうございます。

●預託者 安達 幸香 様

亡夫 安達 昭敏 様の香典返しとして
 金 5万円 (市社協 10,000円 大津島社協 40,000円)

●預託者 高松 久 様

亡父 高松 逸平 様の香典返しとして
 金 5万円 (市社協 10,000円 大津島社協 40,000円)

若潮の会 平成27年度活動スケジュール (予定)

- 8月15日(金) アイランドカップ…ツフトバレ&懇親会
- 10月4日(日) 大運動会…各係りと競技に参加
- 11月1日(日) 文化祭…バザーのお手伝い
- 11月15日(日) 遠足…柳ヶ浦・馬島方面
- 12月6日(日) ポテトマラソン…ボランティア
- 3月27日(日) さくらまつり…バザー出店

移動図書館<やまびこ号 Jr.>

- 7月10日(金) 8月28日(金)
- 馬島巡航待合所 11:30~12:00
- 刈尾巡航待合所 12:20~12:50

編集後記

9月号は、【ソーランエー】の特集を予定しています。お話を聞きに伺いますので、ご協力をお願いします。また、写真をお持ちの方は是非ともお知らせ下さい。